

## ひろしま医療情報ネットワーク 在宅医療／介護支援システム 利用規程

（規程の目的）

第1条 この規程は、一般社団法人 広島県医師会（以下「広島県医師会」という。）が設置運営するひろしま医療情報ネットワーク（以下「HMネット」という。）在宅医療/介護支援システムの利用につき必要な事項を定め、医療倫理の原則に基づき患者の医療・看護・介護関連情報を適正に利用することを目的とする。

（HMネット在宅医療/介護支援システムの利用範囲）

第2条 HMネット在宅医療/介護支援システムに参加登録したシステム利用者は、広島県医師会に設置した情報共有サーバーに接続後、次条に述べる機能及び今後追加される諸機能を利用することができる。

（HMネット在宅医療/介護支援システムにより提供される機能）

第3条 HMネット在宅医療/介護支援システムで利用できる機能は次のとおりとする。

- （1）本システム利用に同意した患者・利用者の医療・看護・介護関連情報の閲覧、記事・画像・動画等の登録
- （2）当該患者担当スタッフ間における医療・看護・介護関連情報等連絡事項の送受信

（在宅医療/介護支援システムの利用者）

第4条 システム利用者とは、医療福祉に就労する医療・看護・介護関連従事者のうち、本利用規程に書面で同意し、本規程に定めるID、パスワード等の登録を完了した者をいう。

（施設責任者）

第5条 施設責任者とはシステム利用者が所属する医療・看護・介護関連施設の代表者を指す。

（システム利用者の責務）

第6条 HMネット在宅医療/介護支援システムの利用者は、所属施設の施設責

任者監督の下、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- （１）システム利用者がHMネット在宅医療/介護支援システムを利用する場合には、著作権法（昭和45年法律第48号）及び個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）を遵守しなければならない。
- （２）HMネットに接続するWindows端末、Windowsタブレット端末、Androidタブレット端末等には、ウィルス対策ソフトを導入し、常に最新のウィルス定義への更新を行わなければならない。但しiOSタブレット端末については必須としない（平成26年12月現在）。
- （３）HMネットに接続するWindowsタブレット端末、AndroidあるいはiOSタブレット端末に、在宅医療/介護支援システムに使用する目的以外のアプリケーションソフトをインストールしてはならない。個人所有のタブレット端末を使用する場合はこの限りではないが、所有者個人の責任においてセキュリティに関する配慮を十分に行わなければならない。
- （４）在宅医療/介護支援システムを利用するモバイル端末には、パスワードロックを設定しなければならない。

（HMネット在宅医療/介護支援システム利用に当たっての禁止事項）

第7条 利用者は、HMネット在宅医療/介護支援システムの利用にあたり、次に掲げる行為をしてはならない。

- （１）HMネット在宅医療/介護支援システムを通じて取り扱われる患者情報及び医療・看護・介護関連情報、及びその他情報を不正に利用する行為。
- （２）HMネット在宅医療/介護支援システムを通じて取り扱われる患者情報及び医療・看護・介護関連情報、及びその他情報を改竄する行為。
- （３）HMネット在宅医療/介護支援システムを通じて取り扱われる患者情報及び医療・看護・介護関連情報、及びその他情報を漏洩させる行為。
- （４）他のシステム利用者になりすましてHMネット在宅医療/介護支援システムを利用する行為。
- （５）有害なコンピュータープログラム等を送信又は書き込む行為。
- （６）本人の同意を得ることなく又は詐欺的な手段により患者情報及び医療・看護・介護関連情報、及び第三者の個人情報を収集する行為。
- （７）HMネット在宅医療/介護支援システムの利用又は提供を妨げる行為。
- （８）HMネット在宅医療/介護支援システムを利用した営業活動その他営利を目的とする行為（書面により広島県医師会が事前に承諾した場合を除く。）
- （９）第三者にHMネット在宅医療/介護支援システムを利用させる行為（書面により広島県医師会が事前に承諾した場合を除く。）

- （１０）その他、広島県医師会が不適切と判断した行為。
- （１１）システム利用者が本規程に定める目的以外にその情報を利用する行為。
- （１２）W i n n y その他 P 2 P ファイル交換ソフト等をインストールする行為。
- （１３）ＩＤ、パスワード、利用者認証ＱＲカード(使用する場合)をHMネット在宅医療/介護支援システムに参加していない第三者に貸与する行為。
- （１４）第三者又は広島県医師会の著作権その他の知的財産権を侵害する行為。
- （１５）第三者又は広島県医師会の財産、名誉及びプライバシー等を侵害する行為
- （１６）広島県医師会の信用を傷つけ、又は同医師会に損害を与える行為
- （１７）法令又は公序良俗に反する行為。

（施設責任者の責務）

第８条 施設責任者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- （１）施設責任者は、自施設内のHMネット在宅医療/介護支援システム利用に使用する機器類の適切な管理、施設責任者、システム利用者情報の変更やそれらの登録・抹消に関して、遅滞のない報告を広島県医師会に対して行わなければならない。
- （２）施設責任者は、自施設のシステム利用者が第６条及び第７条に掲げた法令、禁止事項等を遵守し、また第１３条で述べるＩＤ、パスワード、利用者認証ＱＲカード(使用する場合)に関する管理を適切に行うよう監督指導するものとする。
- （３）HMネット在宅医療/介護支援システム利用に使用する貸与物品の紛失、盗難時等は速やかに広島県医師会に報告を行うものとする。

（利用者資格等）

第９条 HMネット在宅医療/介護支援システムの利用者は、次に掲げる事項について利用資格を有するものとする。

- （１）HMネット在宅医療/介護支援システム参加申請書・導入調査書によるアカウント申請及び在宅医療/介護支援システム利用に関する誓約書を広島県医師会に提出し承認されたシステム利用者限定される。

（HMネットの利用形態）

第１０条 HMネット在宅医療/介護支援システムの利用形態は、次に掲げる通りとする。

利用者は広島県医師会に設置した情報共有サーバーを経由し、情報発信・受

信を行うものとする。

（利用時間）

第11条 HMネット在宅医療/介護支援システムの利用時間は、1年間を通じ常時利用可能とする。ただし、定期的な保守点検等により運用を停止する場合は、システム利用者に対してネットワーク事務局を通じ事前に通知するものとする。不定期に必要となった保守点検・修理の際は予告なく運用を停止することがある。

（機能等の変更等）

第12条 HMネット在宅医療/介護支援システムの良い運用を維持するために必要な場合には、システムの機能又は利用時間の変更又は停止を行うものとする。

2 前項の規程により変更又は停止するときは、利用者に対し事前にその旨を、HMネット事務局を通じて連絡するものとする。ただし、緊急その他広島県医師会が特別の理由を認めるときは、この限りではない。

（ID・パスワード・利用者認証QRカードの管理）

第13条 システム利用者はHMネット在宅医療/介護支援システムのID、パスワード、及び利用者認証QRカードを使用する場合はその管理に関して次の内容を遵守しなければならない。

（1）セキュリティ保持のため、システム利用者は最終パスワード変更時から90日以内にパスワードを変更しなければならない。

（2）施設責任者は責任範囲内のシステム利用者が何らかの理由で第4条に定めるシステム利用者に該当しなくなった場合、すみやかにID、パスワード等の取り消しを申請し、利用者認証QRカードを破棄しなければならない。また、医療提供施設としてHMネット利用を中止する場合は、貸与物品を返却しなければならない。

（3）ID、パスワード等の発行事務手続きは、広島県医師会で行う。

（初期費用及び利用料金）

第14条 HMネット在宅医療/介護支援システム参加に必要な初期諸設備の構築及びその運営・維持のため、各参加施設は広島県医師会に対して、所定の料金を支払うものとする。

（通信内容の削除）

第15条 HMネット在宅医療/介護支援システムを利用した通信内容について、次の各号に該当する場合は、広島県医師会が判断し、その内容を削除するものとする。

- （1）通信内容に利用者相互の信頼関係を失墜させるおそれがある場合。
- （2）記載期限を経過した情報がある場合。
- （3）法令等の条項に違反した情報がある場合。

（ID等の取り消し）

第16条 システム利用者が、次の各号のいずれかに該当したときは、ID等は広島県医師会が取り消すものとする。

- （1）本規程のシステム利用者に該当しなくなったとき。
- （2）医療関係法令、個人情報保護法令の各条項に違反したとき。
- （3）HMネット在宅医療/介護支援システム上の医療・看護・介護関連情報の取り扱いが不適切であり、かつ、広島県医師会からの指導又は警告にもかかわらず改善が認められないとき。

（違反行為に対する措置）

第17条 システム利用者及び施設責任者は、第2項本文に掲げる違反行為があった場合には、速やかに第2項各号に掲げる措置を受ける。

2 広島県医師会は、システム利用者が第7条の各号に該当する行為を行なっていることを知った場合、または該当行為により第三者から広島県医師会に対してクレーム・請求等がなされた場合、あるいはその他システム利用者による行為がHMネット在宅医療/介護支援システムの運営上不適当であると広島県医師会が判断した場合には、システム利用者とその施設責任者に対して、次の各号のいずれか又はこれらを組み合わせた措置を講ずる。

- （1）第7条各号に該当する行為を直ちに止めるよう催告し、速やかに是正することを要求する。
- （2）システム利用者の違反行為により広島県医師会へクレーム・請求等が生じた場合、システム利用者及びその施設責任者は、クレーム・請求をなした第三者との間で問題を協議し、解決することを要求する。

3 広島県医師会がシステム利用者に対して前項第2号に基づく要求を行った場合、システム利用者及びその施設責任者は、広島県医師会にクレーム・請求等をなした第三者との間で問題を協議し、解決を図るものとする。

（事務局）

第18条 この規程に定める事務手続き等については、広島県医師会HMネット事務局においてその処理を行うものとする。

## 附 則

この規程は、平成26年12月 1日より施行する。